

ピーター・ウェイン・ルイス- 緊急フィリップ・ティナリの瞑想

オバマが大統領になる前からピーター・ウェイン・ルイスが働いていた北京のスタジオに行くために、あなたは北東に運転します。かつてはバーチの木が並ぶ廊下が白い高さに描かれていた道路を通って街を離れ、今では高速道路に近いものに広がりましたが、常にグレードでは、彼らが置き換えた田舎のわずかなささやきを保持する交差点で区切られています。あなたはアルゼンチンのバーベキューレストランの前を左に曲がり、おそらくその前庭の装飾品の後にエルオベリスコと呼ばれる廃止。あなたは、いくつかのインターナショナルスクールと、1990年代初頭に街の遠いフリンジ、外国人のためのゲート避難所、新たに豊かな人々のために現れ始めた、中国語の別荘として知られているアメリカスタイルの一戸家の元の発展のいくつかを渡します。そして、物事は消え始めます。突然、電動スクーターと即興配達車が車を上回り始め、村の名前を発表する安価なアルミニウムの入り口のアーチが通りの両側に現れ始めます。

あなたは赤レンガ博物館、アバントグレードの同情を持つ地方の開発者によって建てられた広大な現代アートセンターを過ぎて右に曲がります。ミレニアムの変わり目に外交地区にいたとき、北京初のハイコンセプトな中華料理店の1つであるグリーンTハウスを通り過ぎ、現在は白い石膏砂利の庭の中心にある宮殿パビリオン、カーショーや映画撮影に適しています。そして、あなたは318コンパウンド、レンガ壁のアルミニウム屋根のスタジオのウォーレンに入り、アーティスト、主に中国人は、近くの隣人やその先の都市の通知を超えて作品を作っています。キングストンのジャズピアニストの息子に会うことを期待する最初の場所ではなく、マサチューセッツ州の美術学校の上級教授です。しかし、蒸し暑い夏の午後、または真っ暗な冬の夜にルイスのスタジオに入ると、これは彼の特定の魔法の品種が起こる場所であることを知っています。

ピーター・ウェイン・ルイスは、伝えるべき物語を持っている人の緊急性を持って絵を描きます。「絵画は緊急事態です」と彼は言います。彼は表現主義を超えた抽象化であり、色のフィールドではなく、キャンバス(キャンバスのみ、ペア、グリッドスイート)であり、ステージの物語というよりはキャプチャエネルギーです。探検は身振り、色彩、フォーマルであり、何とか人生に忠実です。「マイムシスは私の絵ではありません。私は外を見ていない私は中を見ている。私は自分の作品を発見し、意味を割り当てようとしています。私は彼らが何であるか、どこから来たのかを理解しようとしています。彼らは私の血、私の骨、私のすべてです。

アフリカ系アメリカ人の伝統で働く多くの現代アーティストと同様に、ルイスは自分自身をディアスポラの証人であり、彼を生き生きとさせた権力と資本の生きた力の具体化と見なしています。この特定の歴史的苦境から、彼は肉によって仲介されるように、先史時代から現在への創造的な衝動と特定のタイプのコンコースで超越を求めています。「私は自分の体の中にあるものをアンロックまたは解凍する方法、DNAに埋め込まれた言語を見つける方法を尋ねています。二重らせんは、人類の歴史の全てへの導管である。彼は常に音楽に取り組んでいる間、彼はアフリカに遠く離れて、そして自分自身の奥深くに、非参照マーク作りの神秘的なルーツについて考えます:ラスコーからアクラ、ポロックからロスコへの意味の道、

キングストンからニューオーリンズ、バダ・シャンレンからレオナルド、サンフランシスコからボストン、北京へ。

独特のモチーフや色、そしてそれらを生み出すジェスチャーを除けば、ルイスの絵画を引き離しているのは、深い時間の感覚です。音楽に触発され、彼は存在するキャンバスにブラシを置く行為を理解し、最終的には、その作成の秒、分、時間を文書化します。これらの時間は、夜中に落ちないよりも頻繁に。北京の夏と冬の深さで彼のスタジオの上に住んで、彼は彼自身の作りの緊急時に3~4.mまで気にしていません。油顔料が疑わしい品質の都市では、彼はアクリルで働き、乾燥時間を数日に遅くしています:「私は各材料が提供するものについてできるだけ明確にしようとしています」と、彼は言います。結果として得られた組成物は、これまでの彼の最も熟練したスイートがそれを「曲げ時間」と呼ぶように、この意図を裏切ります。しかし、彼らはまた、宇宙のアイデアを曲げる。これらは、円の中を動かして、飛行機の上に2~3フィートをホバリングすることによって作られた絵画であり、キャンバスは最初はランダムに配列され、最終的にはパターンが出現するグリッド化されたグループに配列され、正式で色彩的なアイデアはある正方形から別の正方形にジャンプします。「スペースは平らに見えますが、空っぽではありません、実際にはいっぱいです」とルイスは、彼が別の絵画のどんちゃん騒ぎに行く前に、午後に給油に来る私のオフィスの向かいのお化け屋敷でコーヒーを飲みながら私に言いました。「私たちの周りのスペースがそこになれば、私たちは存在しません。

しかし、なぜ北京、そしてなぜ今なのか?私は2010年にルイスに初めて会い、過去8年間監督した博物館でのオープニングディナーで会いました。2016年にルイスの個展「北京ブースター」が展開されるのと同じギャラリーで、当選したばかりの黒人大統領の公式肖像画で不滅に進む黒人アーティスト、ケヒンデ・ワイリーの展覧会を祝っていました。北京にスタジオを持つケヒンデ・ワイリーやピーター・ウェイン・ルイスは、今日の新しいポピュリズムと権威主義の種が私たちのまだ実現せずに植え付けられていた時に、米中ののれんの晩夏の論理で一種の意味をなしました。ルイスはその後、中国の首都の地上で新しい国際主義を表す群衆と一緒に走り、ショー、議論、集まり、ギャラリーを組織しました。おそらく、私たちは皆、それが永遠に続かないのではないかと疑いました。しかし、地政学的状況の変化は確かに彼がここで彼の仕事を続けることを妨げませんでした。それ以来10年間で、彼は決して到着しなかった新しい秩序の先駆者から、まだ何らかの形で存在する楽観主義の証に行ってきました。彼の作品が中国の地上の状況に応じて形や主題を明示的に変えていない場合、それにもかかわらず、それはテロワールの微妙な抑揚を明らかにします:スタジオのドアを越えてヘルゲ荘の賑やかな村の色、エコーと香りの予期せぬ変化、そしてアーティストの意識への道を見つける別の偉大な文化的伝統の不可解な感覚。

結局のところ、ピーター・ウェイン・ルイスの芸術は、彼が「絵画の儀式を通じて精神への自己の変換」と呼んだものよりも、環境を反映したり、プログラムを伝えることにあまり関するものです。絵画は、彼のために魔法の一形態であり、キャンバス、顔料、ブラシ、ボディで鍛えられたもので、彼と私たちが行った後も長い間証言し続けるパリンプセストを残しています。それは何千年にもわたって人類の表現と共に招集する、ユニークで避けられない方法を提供します。それは私たちを巻

き込む深く秩序ある混乱を受け入れることを可能にします。そして最も重要なことは、発見と再発見の終わりのない旅にアーティストを駆動します。「私はこれらの絵を作る方法を知りません」と、ルイスが言いました。「私はいつも畏敬の念を持っています。

PHILIP TINARI 田畑宇 Director and Chief Executive Officer 学芸員および CEO
UCCA Center for Contemporary Art
UCCA ユレンス現代芸術センター

ピーターウェインルイス:緊急の瞑想
ティアン・ユウ、翻訳/ホ・ペリアン

ピーター・ウェイン・ルイスの北京のスタジオに向かうには、北東にドライブする必要があります。オバマが大統領に選出されるまで、彼は働いていました。街を出るこの道路は、毎日、政府高官や観光客を空港に輸送し、かつては白いユーカリの木が並ぶ狭い通路で、木の幹に白いペンキが並び、斜面が広がっているにもかかわらず、道路は高速道路のように広がり、途中や交差点は田舎の匂いを残しています。アルゼンチンのグリルで左折します。前庭のオペリスクにちなんで名付けられたこの店は、現在または閉鎖されています。さらに、いくつかのインターナショナルスクールや初期のアメリカの一戸建て住宅を通過します。ヴィラと呼ばれるこれらの家は、1990年代初頭に都市の端に出現し始め、外国人や新しい富裕層のための楽園となりました。その後、その光景は衰退し始めた。電動車や簡易配達車の数が突然車を追い越し始め通りの両側に安価なアルミアーチが現れ始めました村の名前が書かれていましたかつてはアーティストが集まる村は今や都市のより大きな計画に巻き込まれています

赤レンガ美術館を通り過ぎると、すぐに右折します。これは、アバンギャルドな地元の開発者によって建てられた大規模な現代美術センターです。その後、北京で最初の高概念中華料理店の1つ、紫雲軒茶事の後。新しい千年紀の時に外交区に位置し、現在は白い石膏の砂利で飾られた庭で中心を占める宮殿のパビリオンで、モーターショーや映画撮影のための良い場所です。さらに318国際アートパークに入ると、レンガの壁とアルミニウム板の屋根構造のスタジオが集まります。ここのアーティストのほとんどは中国人で、近くの隣人や遠くの都市に気づかれていない。キングストン卿のピアニストの息子やマサチューセッツの有名な美術学校の上級教授に会うとは思ってもみなかったでしょうしかし、蒸し暑い夏の午後や暗い冬の夜にルイスのスタジオに足を踏み入れると、それが彼のユニークな魔法が起こる場所であることがわかります。

ピーター・ウェイン・ルイスが絵を描くとき、ストーリーテリングの切迫感があります。「絵を描く」と彼は言った。彼の抽象絵画は表現主義をある程度超えています色域ではなく力場ですこれらの個別のキャンバスは格子状またはグリッド状に組み立てられたキャンバスで物語を上演するのではなくエネルギーを捉えていますこれらのジェスチャー、色、形式的な探求は、ある程度は人生に忠実です。「模倣は私の絵の目的ではありません。外向きではなく、内側を見ている。私は作品を発掘し、意味を与えようとしています。私は、彼らが何であり、どこから来たのかを理解しようとしています、彼らは私の血、私の骨、私のすべてです。」

アフリカ系アメリカ人の創造の伝統を維持している多くの現代アーティストと同様に、ルイスは自らを分散の証人と見なし、権力と資本力の存在を化身にしています。この特定の歴史的ジレンマから、彼は身体を媒体とし、先史時代から現在までの創造的な衝動を持って、特定のタイプのフィールドを超えて移動しようとしてきました。「私は、私の DNA に埋め込まれた言語を見つけるために、私の体に収容されているものを明らかにまたは取り出す方法を考えています。この二重らせんは、すべての人類の歴史への通路です。彼は常に音楽に付随し、遠くのアフリカにまでさかのぼり、自分の心の奥深くにまでさかのぼる、無防備な絵画の痕跡の神秘的なルーツを考えています。これは、ラスコからアクラ、ポロックからロスコ、キングストンからニューオーリンズ、8人の山からダ・ヴィンチ、サンフランシスコからボストン、そして北京への意味です。

ユニークなパターンと色、そしてそれを作り出すジェスチャーに加えて、ルイスの絵画の特徴は、その深い時間感覚です。音楽に触発され、彼はキャンバスにペンを運ぶ行為が存在し、最終的に作成の時間、分、秒を記録すると信じています。これらの時間は、多くの場合、真夜中に行く。彼は北京の夏と冬の深さでスタジオに住んでいて、彼が作成した緊急事態で午前3時か4時まで邪魔されずに働きました。油絵の具の品質に疑問があるこの都市では、彼は数日間乾燥させることができるプロピレンを使用して作成しました。「私は、各材料の可能性を可能な限り把握します」と、彼が言いました。結果として得られた作品は、彼がこれまで最も成功したシリーズの名前であったように、その「曲げ時間」の意図に反しています。そして、彼らはまた、これらの絵画は、一定の動きで作成されているので、空間の概念を曲げます-画面の上に2つまたは3フィートの遠くにペンを旋回し、最初にランダムに配置されたキャンバスは、最終的にメッシュグループを形成します。パターンは、形と色が1つの正方形から別のブロックにジャンプする中から生まれます。空間は平らに見えますが、空っぽではなく、満員です。ルイスは私のオフィスの向かいの古い場所でコーヒーを飲んで、私に言いました。彼はよく午後ここにきて、自分自身を充電し、再び大きな絵を描き始めます。「私たちの周りのスペースが存在しなければ、私たちは存在しません。」

しかし、なぜ北京、なぜ今? ルイスと初めて会ったのは2010年8年間美術館を運営していたオープニングディナーでした。当時はケインド・ウィリーの展覧会の成功を祝っていましたが、黒人アーティストは、後に選出されたばかりの黒人大統領の公式肖像画を描きました。同じショールームで、ルイスの個展「北京ブースター」は2016年に開催されました。しかし、ハイネド・ヴィリーまたはピーター・ウェイン・ルイスは北京にスタジオを持ち、夏の終わりまでに中国とアメリカの友好的な論理に特別な意味を持っています。今日のネポティズムと権威主義の種は、当時から植えられており、まだ意識がありません。当時、ルイスと新しい国際主義者のグループは、中国の首都の土壌で活動し、独自の展覧会、ディスカッション、パーティー、ギャラリーを組織しました。おそらく、私たちは皆、この光景が永遠には続かないと疑っていたかもしれませんが、地政学的环境の変化は、明らかに彼がここで働き続けるのを妨げませんでした。その後の10年間、彼は完全に到着しなかった新しい秩序の前兆から、まだ何らかの形で存在する楽観主義の証に変わった。彼の作品が中国の実情に即した形やテーマの変化を起こさなければ風土や人間の感情の微妙な変化が明らかになります。想像を絶する色の変化スタジオの外の賑やかなホー・ゲジュアン村のエコーや匂いそしてもう一つの偉大な文化的伝統がアーティストの意識に徐々に入り込むという言葉では言い表せない感覚です。

結局、ピーター・ウェイン・ルイスにとって、芸術は「絵画の儀式的行動を通じて、自己を精神に変える」という彼の口の中で、環境を反映したり、プログラムを伝えることよりも、彼の口の中です。彼にとって、絵画は魔法の形です。この魔法はキャンバスや絵の具ブラシ体体とともに生まれます ルイスと私たちが消えてからずっと後に 証言として 続く複数の意味を残します 何千年もの間、人間性の表現とコミュニケーションをとるためのユニークで無視できない方法を提供します。深く掘り下げた秩序ある混乱を受け入れることができました 最も重要なのは アーティストを発見と再発明の 絶え間ない旅に駆り立てています 「私はこれらの絵をどのように描いたかわかりません」とルイスは言いました。